令和７年度「読書県しずおか」づくり表彰　優秀実践

■ 学校名

静岡市立服織中学校

■ 所在地

静岡市葵区羽鳥一丁目８－１

■ 基本データ

校長氏名	坂本　敦
担当者名	望月　麻依子
電話番号	054-278-9731
児童・生徒数	540名

活動実績

① 端末を利用し、学習用資料を動画で紹介（情報・学習センター）
② グループで楽しむビブリオトークの実施（学習・読書センター）
③ 各クラスで視聴できるよう新着本案内の動画を作成（情報・読書センター）
④ 特別支援学級の作業学習の時間を図書館で実施（学習センター）
⑤ 教室に入れない生徒のための一時的な居場所として活用

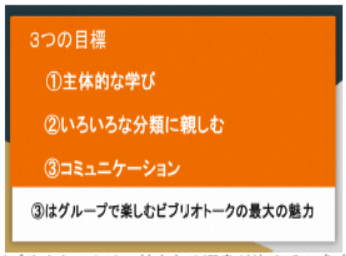
■ 活動の特色

・小学校等との連携：イベント、オリエンテーション、新着本案内、議事録の データ資料等を小中グループ校で作るクラスルーム（掲示板）で共有
・全校で取り組んだ読書活動について：新着本案内の動画を朝読書で視聴（図書専門委員会主催「びっくらほん」）
・多様な読書活動：２年国語「グループで楽しむビブリオトーク」、短歌鑑賞
・公立図書館との連携：年間475冊の協力貸出
・ICT活用：１年総合と３年公民の調べ学習用に、各クラスで資料動画を活用
・学校司書・司書教諭・担任の連携：各教科で必要な資料を素早く提供

■ 活動の成果

・新着本案内動画は朝読書の時間で視聴し、紙媒体よりも一斉に多くの生徒に届いた。
・ビブリオトークで９類以外の多くの本に触れ、興味関心が広がった。
・オリエンテーション後のアンケートの結果を検討し、蔵書構成に活用できた。
・図書専門委員会のイベント開催月は、前月に比べ貸出増になった。
・資料を利用した教員と連携し、有効な資料を精査して購入に繋げた。

<グループで楽しむビブリオトークの目標と効果>



ビブリオトークは、魅力ある選書が決め手！成功の 80%は、選書！！

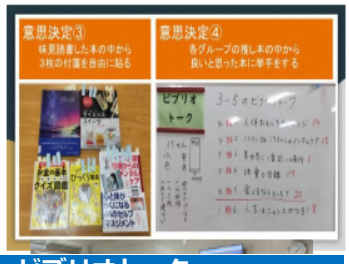


写真２　ビブリオトーク

4月　オリエンテーション（1年生と支援クラス）…授業利用		
どのような場面で	どのように活用したか	どのような成果があったか
対象：1年生…5クラス 支援学級 時間：国語	活用：グーグルスライド （図書館のモニター） ・利用案内 ・日本十進分類法の説明 ・各分類の人気本の書影など、アニメーションを使い、クイズ形式で説明。 ・フォームでアンケート	・興味を持ってスライドを見てよく理解ができた。 ・全ての生徒がオリエンテーション終了後、本を借りた。 ・「本とともだち」冊子の活用 ・テキストマイニングで全ての　感想を表すと、わかる・借りる・楽しいという感想が多いことがわかる。

写真１　４月のオリエンテーション

■ 学校図書館の状況

「学校図書館活用計画」の作成	○	「学校図書館図書標準」の達成	○
新聞の配備	○	推薦図書の選定	○
図書資料のデータベース化	○	館内のインターネット利用環境	○
司書教諭の発令	○	司書教諭の授業時数の軽減	○
学校司書の配置	○	校内研修（学校図書館の活用）の実施	○
公立図書館との連携	○	読書ボランティアとの連携	○

授業利用

写真３　図書の授業利用